

検定試験の第三者評価 【簡易版】 総括評価 評価結果

1. 対象検定試験 謎解き能力検定
2. 実施運営団体 株式会社 SCRAP
3. 受審有効期間 2027年3月まで有効とする
4. 評価講評

●大項目Ⅰ 検定試験の実施主体に関する事項

検定試験の目的はHP等に明確に示され、試験に関する情報はHPやSNS等を活用し公開されている。事務処理体制、危機管理体制、内部チェック体制等、組織体制は整備され、財務情報も整えられている。また、自己評価を実施するなどPDCAサイクルに基づき運営改善に努力している。プライバシーポリシーを公表し個人情報保護に取り組んでいる。

●大項目Ⅱ 検定試験の実施に関する事項

検定試験は自身の謎解き力を測定するものとなっており、クラス判定基準はHP等で公開されている。受検資格の制限はなく誰でも受検可能となっており、受検の方法等については、HP等で公表されている。申し込みの手続きはWEBで完結し、検定試験当日まで申し込みを可能とするなど、受検しやすい配慮がなされている。障害者への配慮については、検定試験がすべてWeb上で実施されるため、任意の環境で受検できるようになっている。ただし、色覚特性を持つ受検者については注意事項がHP等に明記されている。試験実施では、当日のオペレーション、監視、トラブル対応のマニュアルが作成・共有され、検定試験が適正に運用されるよう配慮されている。

●大項目Ⅲ 検定試験の試験問題に関する事項

検定試験の問題設計は、「ひらめき力」「注意力」「分析力」「推理力」「持久力」の5つの力で謎解き能力について測れるよう設計され、試験問題は作問委員会によって作問されている。採点基準の適切さについて、モニターによるサンプル受検を実施し検証している。また、受検後に実施されるアンケート等の内容について検証し、作問委員会を中心に改善が図られている。

●大項目Ⅳ 継続的な学習支援・検定試験の活用促進

検定試験の結果を証明する合格証は受検者本人がWEBからダウンロードでき、点数や級、受検者自身のランキングや細かい分析結果が確認できる。過去問題や対策問題集も発行され、またHP上でお試し受検ができるなど、幅広く継続的な受検の参考になる情報が提供されている。

5. 評価達成率

大項目	該当項目数	達成項目数	達成率
I. 検定試験の実施主体に関する事項	9	8	90%
II. 検定試験の実施に関する事項	15	14	93%
III. 検定試験の試験問題に関する事項	4	4	100%
IV. 継続的な学習支援・検定試験の活用促進	6	4	67%
合計	34	30	88%